

設 立 趣 旨 書

太平洋の島嶼諸国において、戦後の急速な近代化はライフスタイルの変化を引き起こし、数百年以上にわたって受け継がれてきた民族の叡智である伝統文化を衰退へと追いやりました。さらに近年の急速なグローバル化による先進国への大規模な移住・出稼ぎが、社会や文化へ与える影響は計り知れません。こうした中で伝統文化の記録と若い世代への継承は急務となっていますが、関連機関の取り組みや学校教育での扱いは十分ではありません。また文化や歴史に関する資料や情報は、海外の機関に保管されており、現地住民がアクセスするのは非常に難しい状態です。

私達は、オセアニア島嶼国の現地住民が島の文化や歴史について学ぶことは、自民族に対する誇りやアイデンティティの醸成・強化、さらには自分達の伝統に基づいた現在そして未来の文化の創造へつながると考えます。こうした社会の実現に向けて、パシフィカ・ルネサンスは、オセアニアの現地住民による伝統文化の復興・再生（ルネサンス）に貢献するために、文化や歴史の記録、調査、教育での活用に取り組むことを目的とします。また海外で保管されているさまざまな過去の情報・資料・研究成果の共有を図ります。さらにめばしい産業のないオセアニア島嶼国において、観光業は大きな可能性を持っており、重要な観光資源となりうる有形・無形文化遺産の保存に向けて啓発活動を行うとともに、これらのカルチュラル・ツーリズム（文化観光）での活用を目指します。

こうした現地での活動に加えて、日本とオセアニア島嶼国の文化交流や友好関係の促進を図るとともに、日本側でパシフィカ・ルネサンスの活動に携わったり、そのサービスを受けたりする人々の内面に小さなルネサンスのような変化を起こすお手伝いができればと考えます。

これまで私達は上記のような活動の一部を個人的に行ってきましたが、特定非営利活動法人化することによって組織立った包括的な事業を継続的に推進できるようになり、島嶼社会により効果的な貢献ができると考えます。